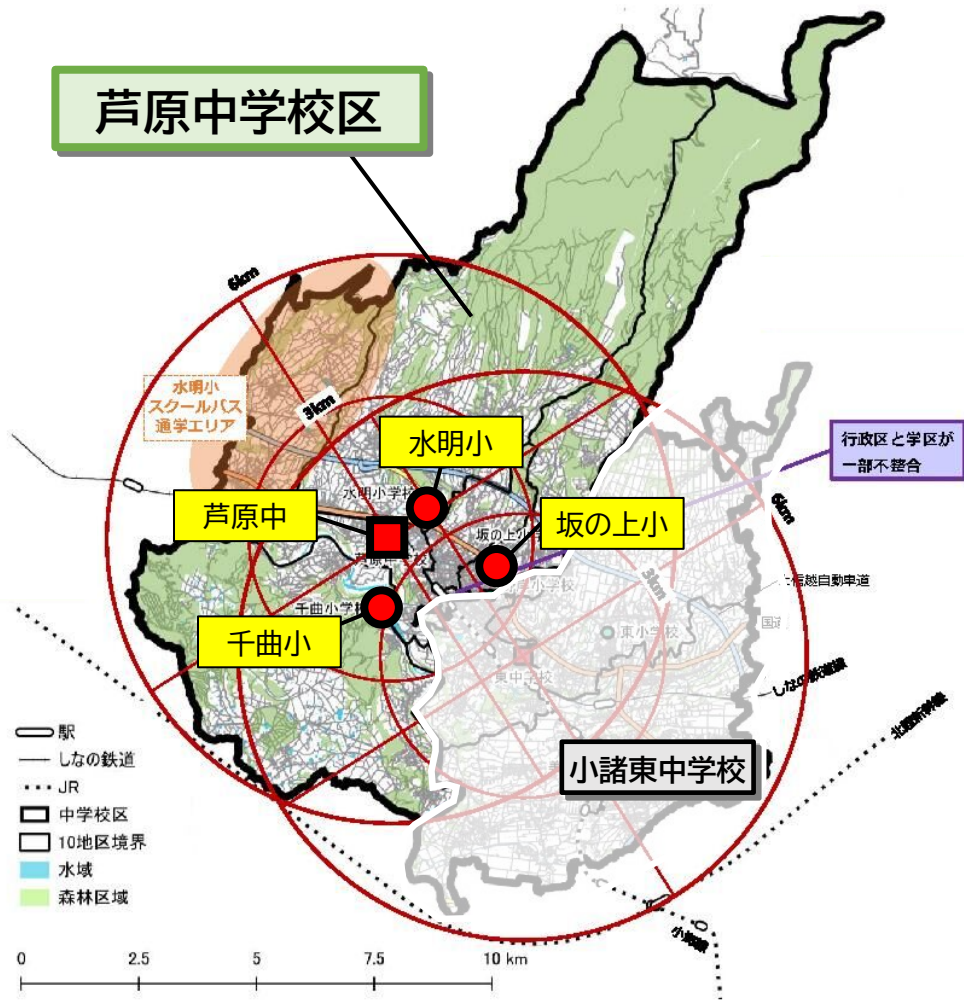


合意形成プロセスに関する事例

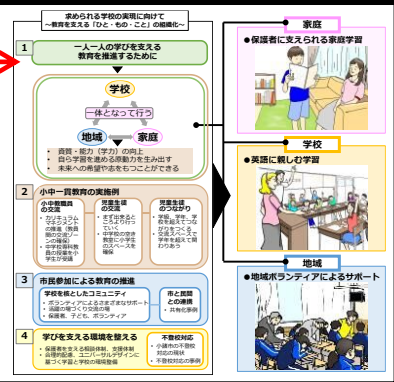
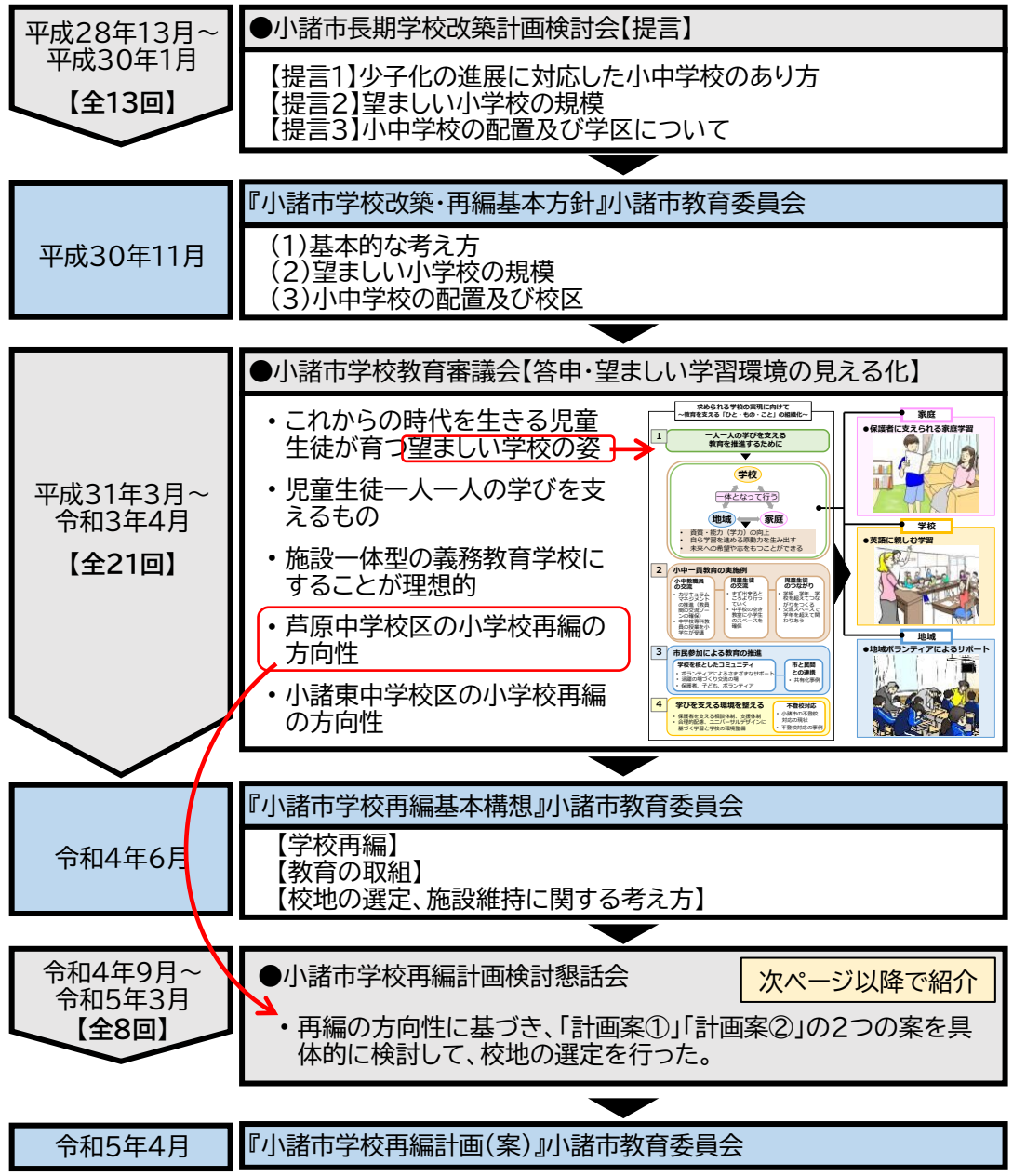
1. 長野県小諸市
小諸市学校再編計画
2. 大阪府交野市
交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業
3. 神奈川県相模原市
光が丘地区学校再編

長野県 小諸市 学校再編計画

●対象



●検討経緯



出典:小諸市ホームページ情報を基に作成

■長野県 小諸市 学校再編計画

●小諸市学校再編計画検討懇話会(令和4年度)

<懇話会の構成>

- ・学識経験者 2名
- ・学校関係者(市内校長会) 2名
- ・PTA代表 (PTA連合会) 2名
- ・幼稚園保育園代表(幼保保護者会) 2名
- ・地域代表(区長会) 2名
(民生児童委員) 2名
- ・経済界(小諸商工会議所) 1名
(小諸青年会議所) 1名
- ・市民公募 1名

<検討経過>

	日程	内容
第1回	9月29日	義務教育における課題 これまでの検討経過
第2回	10月14日	変わる教育
第3回	10月25日	社会の求める人材
第4回	11月10日	小諸市学校再編計画案提示
第5回	12月14日	先進市視察 (義務教育学校 新設型/改修型)
第6回	1月10日	学校再編計画に関するグループ討議
1/24~2/2		中間説明会(小学校ごと)
第7回	2月14日	第6回及び中間説明会の報告 学校再編計画について(2案提示)
第8回	3月24日	まとめ

長野県 小諸市 学校再編計画

<学校再編計画 2案の提示>

計画案①: 統合小学校新設、既存中学校活用

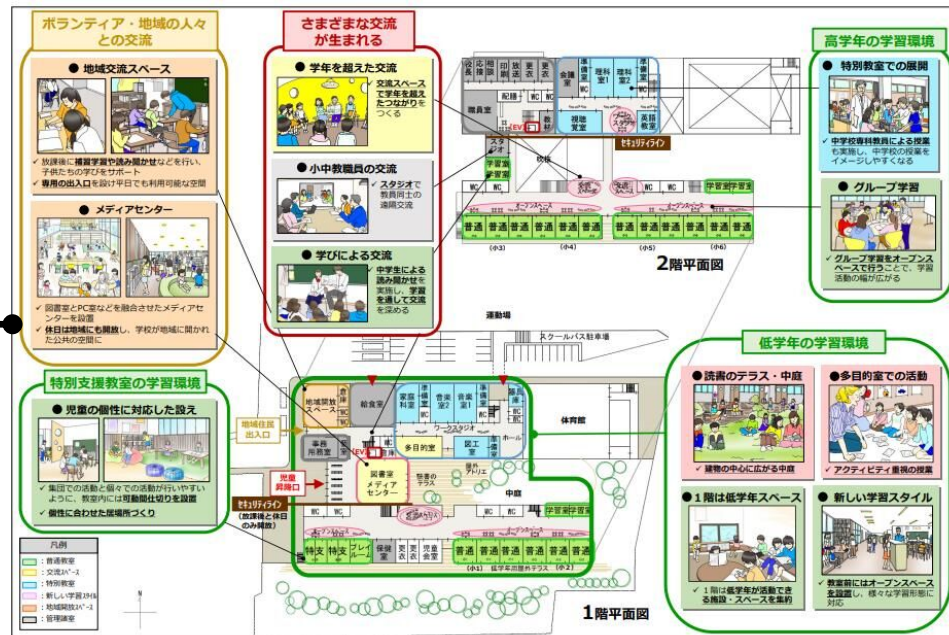
※シテあり、この案を確定するものではありません。

② 建物配置とゾーニング案

新設する統合小学校には、地域交流スペースを設置し、地域との連携が取りやすいようにする。戸原中学校には、小・中の交流スペースを整備し、小・中一貫教育が行いやすいようにする。



統合小学校の活用イメージ



計画案②: 統合小学校と中学校を同一敷地で整備

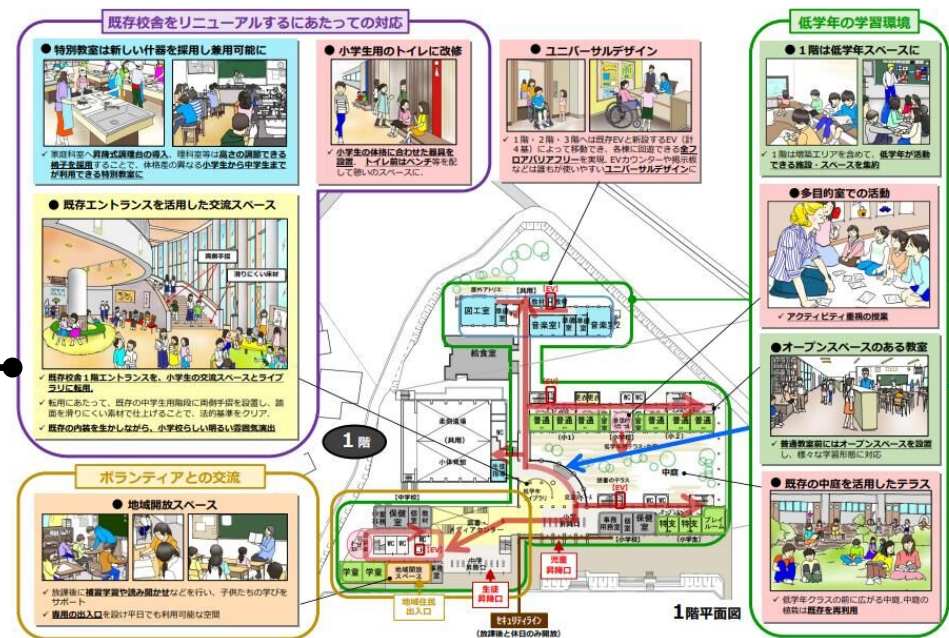
※確定するものではありません。

② 建物配置とゾーニング案

増築する新校舎は、主に中学校棟として活用する。既存の中学校校舎は改修して小学校として活用する。2つの校舎の間には交流ゾーンを設けて回遊性のある小・中一体空間を整備する。運動場は既存のテニスコート部分を一部広げて小学生用運動場を確保し、体格差に配慮するなど工夫する。

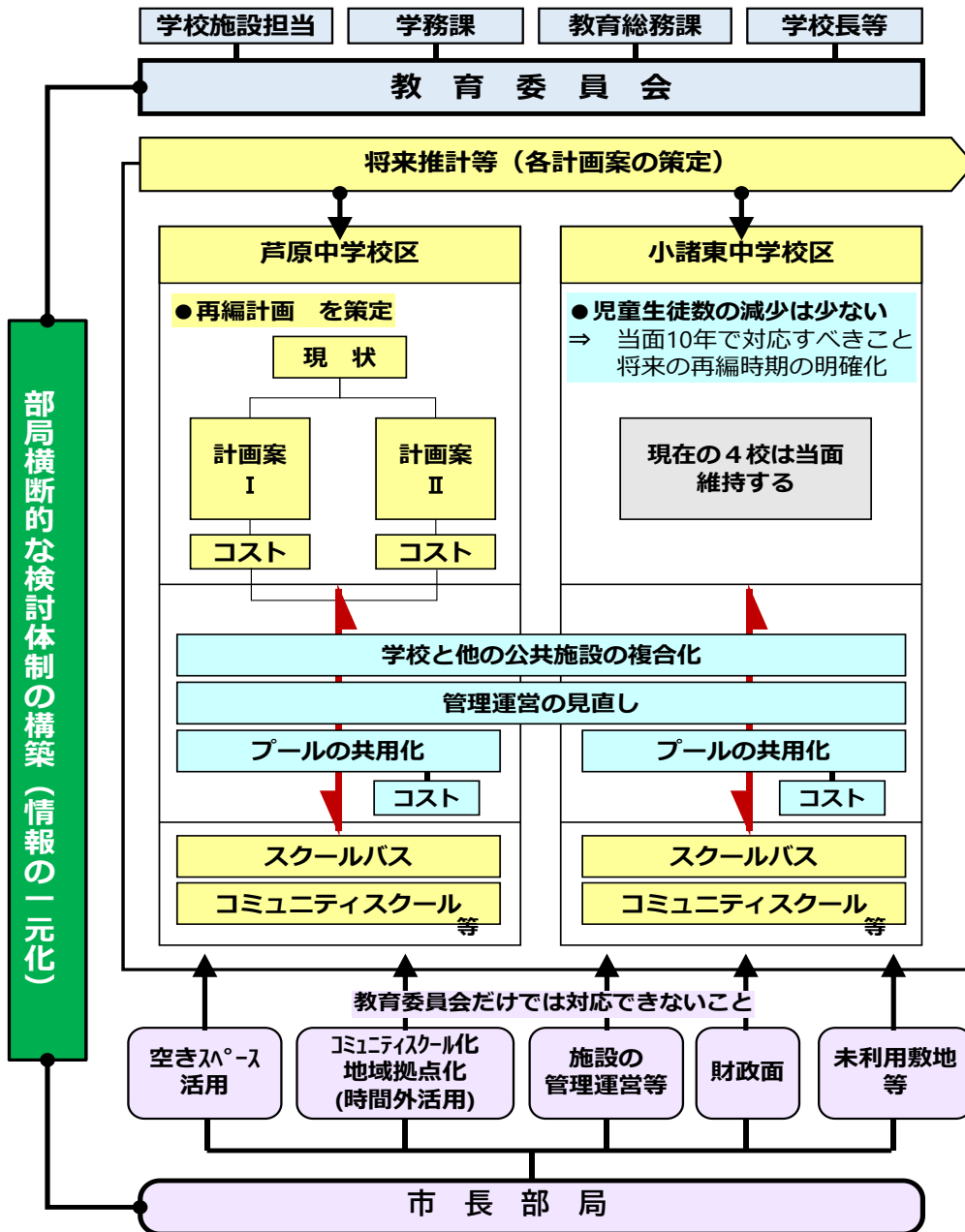


既存中学校改修後の活用イメージ



■長野県 小諸市 学校再編計画

● 部局横断的な検討体制



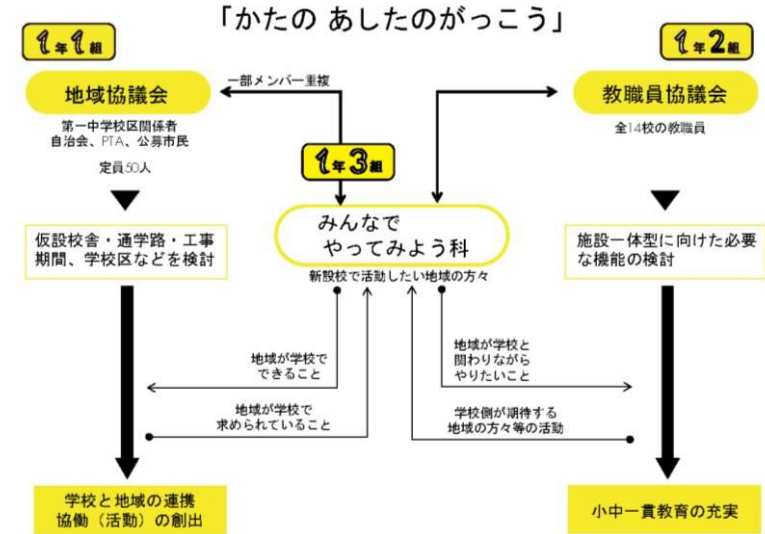
- 学校再編計画を策定するに際しては、学校以外の他の公共施設の複合化や財政面の課題、未利用地の活用など、教育委員会だけでは対応しにくい部分の検討も不可欠となる。
- そのため、市長部局と一体的に取り組む部局横断的な検討組織が必要である。
- 教育委員会と市長部局が一体となって取り組む体制について、庁内、議会等へ合意をとり、「学校再編検討協議会」を立ち上げた。

大阪府交野市 交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業

●対象



●構成:3つの意見交換等を行う場を設定している。



・地域協議会

メンバー：第一中学校区関係者、自治会、PTA、公募市民
 構成内容：ワークショップを実施し、学校統合に関する課題として、整備期間中の施設や通学の安全に関する課題、また新しい学校に取り入れたい機能等を検討する。

・教職員協議会

メンバー：全14校の教職員
 構成内容：ワークショップを実施し、新しい学校で子供たちに経験させたいことや、地域のひととともにやってみたいこと、また新しい学校に必要な機能・教具等を検討する。

・みんなでやってみよう科

メンバー：新設校で活動したい地域の方々
 構成内容：誰でも、どのタイミングからでも参加でき、フラットに話し合うことができるワークショップを実施し、将来新しい学校で子供たちのために何か活動をしたい、学校に関わりたい市民を集めて地域と学校との連携のあり方に関する方法等を検討する。

大阪府交野市 交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業

● 検討経過

<地域協議会>

回	日程	検討テーマ	検討概要・結果
第1回	令和元年 7月12日(金)	新しい学校づくりで大切にしたい視点	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがしっかり学ぶことができる! 子どもたちと地域の安全、安心を守る! 地域の人たちも通える! 先生たちの負担を減らす! 交野の魅力づくりにつなげる!
第2回	令和元年 8月7日(水)	工事期間中の教育環境を考える(メリット・デメリット・解決方法)	仮設校舎の5つの案に対し、工事期間中の教育環境についてメリット、デメリット、問題の解決方法について意見交換を実施
第3回	令和元年 8月29日(木)		
第4回	令和元年 9月25日(水)	工事期間中の教育環境を考える(地域でできること)	<ul style="list-style-type: none"> デメリットを解決するために地域でできることについて同じ地区や近い地区ごとに集まって意見交換を実施 工事期間中地域でできることは、賑わいフェスタなどのイベントを通じた交流活動やあいさつ運動、子ども110番などの見守り活動、空き教室の利用など
第5回	令和元年 10月17日(木)	学校と地域の連携について(地域でできること)	<ul style="list-style-type: none"> 地区として、新しい学校にどう関わりたいか、周辺施設をどう活用するかについて意見交換を実施 新しい学校や周辺施設の活用方法は、音楽室や調理室等を活用した地域と学校との連携活動、地域の様々な団体がワークショップを開催し子どもたちの学べる場を創出 学校と地域の連携を進めるためにはコミュニティスクールコーディネーターのような仕組みづくりが重要
-	令和2年 1月7日(火)	先進事例の視察見学	守口市立さつき学園の視察
第6回	令和2年 1月16日(木)	視察で感じたことをまとめよう	学校の施設や設備に関する意見だけではなく、地域との交流スペースに関する意見やコミュニティスクールなどの組織づくりが必要

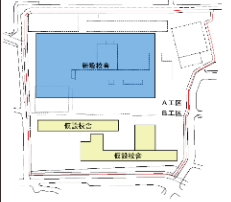
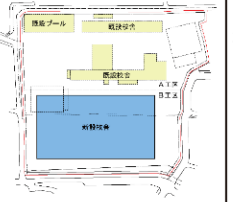
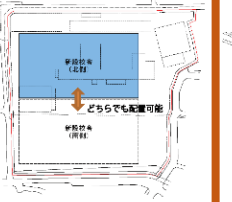

※ 毎回、次回までの宿題として、独自のプランを考えたり、先進事例を調べたりすることなどを依頼している。

● 講演会

- 義務教育学校の学園長、大学教授、コミュニティデザイン会社の代表による小中一貫校に関する講演会。
- 講演会の後に意見交換会を実施。感想の共有を行い気になったことや質問等をカードにまとめ掲示することで意見交換を行う。

出典:かたの あしたのがっこうしんぶん vol6.7

- 事務局が3つのプランの提案をし、協議会メンバーが協議。
- 全ての案を精査した結果新たなプランを追加し検討を進めた。

A-1案	A-2案	B案	C案
整備期間中、仮設校舎を設置して使用する場合	整備期間中、既存校舎を継続使用する場合	整備期間中、長宝寺小学校の校舎を使用する場合	整備期間中、第一中学校の校舎を使用する場合
			

追加したプラン

出典:かたの あしたのがっこう しんぶん vol3

(講演会)



(講演会後の感想・意見交換)



大阪府交野市 交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業

<これまでの意見を反映させた基本設計プラン>

意見を取り入れた基本設計プランの経過報告

これまでの地域協議会の話し合いで出てきた意見を踏まえて、反映した地域交流施設の基本設計プランの経過の報告をしました。

放課後児童会玄関

・出入りがしやすいように玄関を一か所にまとめ、手洗いを設置。

地域ラウンジ・地域活動室

・プリンター
・みんなで囲めるキッチン

まなびの森

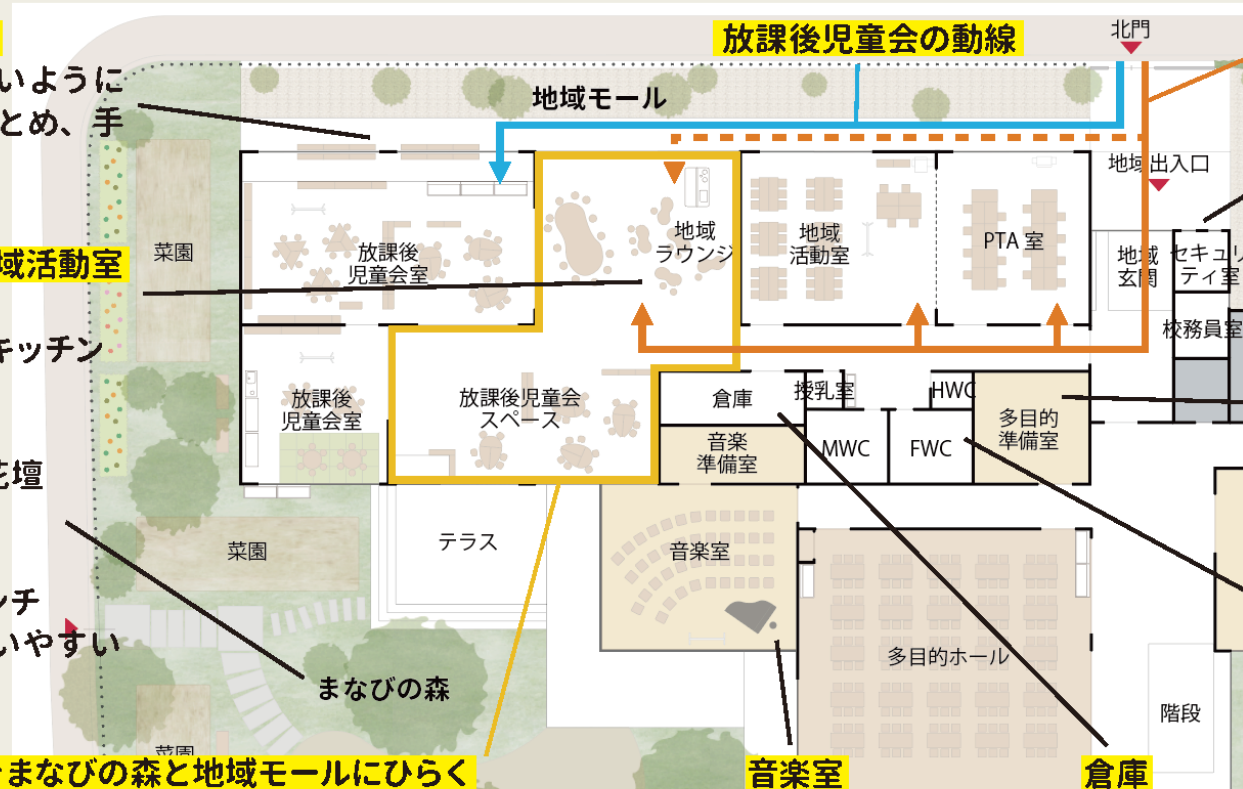
・日当たりの良い花壇
・水道設備
・外灯を設置
・公園のようなベンチ
・イベント等が行いやすい舗装と歩道

オープンスペースをまなびの森と地域モールにひらく

・地域モールにひらいたラウンジ
・まなびの森にひらいた放課後児童会スペース
・イベントや普段の活動を地域にひらくことで交流のきっかけとなる

地域スポット(仮)

地域の人子どもたちに見せたい、学ばせたいと思う活動をメディアとして捉え、学校コーディネーターや地域の人(サポーター)と子どもたちとの接点になる場所を各階のメディアステップ(仮)に配置する



放課後児童会の動線

地域の動線

セキュリティ室

・地域の人が見守ることできる
・機械警備

多目的準備室

・机といす等をすべて収納できるスペース

トイレ・授乳室

・それぞれの活動スペースになるべく近づけて配置。

音楽室

・多目的ホールでもピアノを使用できる仕上げと動線

倉庫

・地域ラウンジのイス等が収納できる広さ
・イベント等の備品を保管

大阪府交野市 交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業

● 検討経過

<みんなでやってみよう科>

- 地域と協力した学校運営のあり方を考えるために、新しく意見交換できる場。
- 学校と地域が連携していくために、実際にどんな活動をすればいいのかを他の事例から学んだり、実際に市民等と一緒に取組を企画している。

回	日程	検討テーマ	検討概要・結果
第1回	令和元年 9月1日(日)	学校と地域がつながること	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域がつながることによって、「よいと期待される効果」「配慮が必要なこと」を子ども、学校、地域それぞれの視点で意見交換 子どもたちを中心に多世代がつながることで、子どもも大人も元気になれる地域づくりにつながる
第2回	令和元年 10月6日(日)	交野らしい新しい学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが安心して意見を言える環境づくりが大切 教職員自身が学んでいくことも大切、組織でチームで対応していくことも必要 どのように安全性を高めていくか、地域で考えていくことが大切
第3回	令和元年 11月17日(日)	やってみたい活動を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 学校をどう活用するかについてのルールと仕組みづくりが大切 先生でも親でもない第三者にどのように関わってもらうかが大切 学校施設を地域の人がもっと使いやすくなるための仕組みが必要
第4回	令和元年 12月22日(日)	活動しやすい学校の受け入れルールを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> いきいきランドとの連携には、移動の際の安全性の確保が必要 自治会館と連携ができそう 学校の駐車場が必要
第5回	令和2年 2月2日(日)	活動の企画づくり	<ul style="list-style-type: none"> 3月の交流会に向けて、交流会で企画を発表するために、発表のツールとなるポスターを作成

●ビジョンのイメージづくり

参加者がイメージする「新しい学校ができあがったときに実現したい状況」を絵や文字、写真など使い表現しました。



●フィールドワーク

自分がイメージに描いた実現した状況(ビジョン)を想像しながら、新しい学校ができる交野小学校の周りを歩きました。



歩いて気づいたことを積図を見ながら共有した

●新しい学校のイメージ

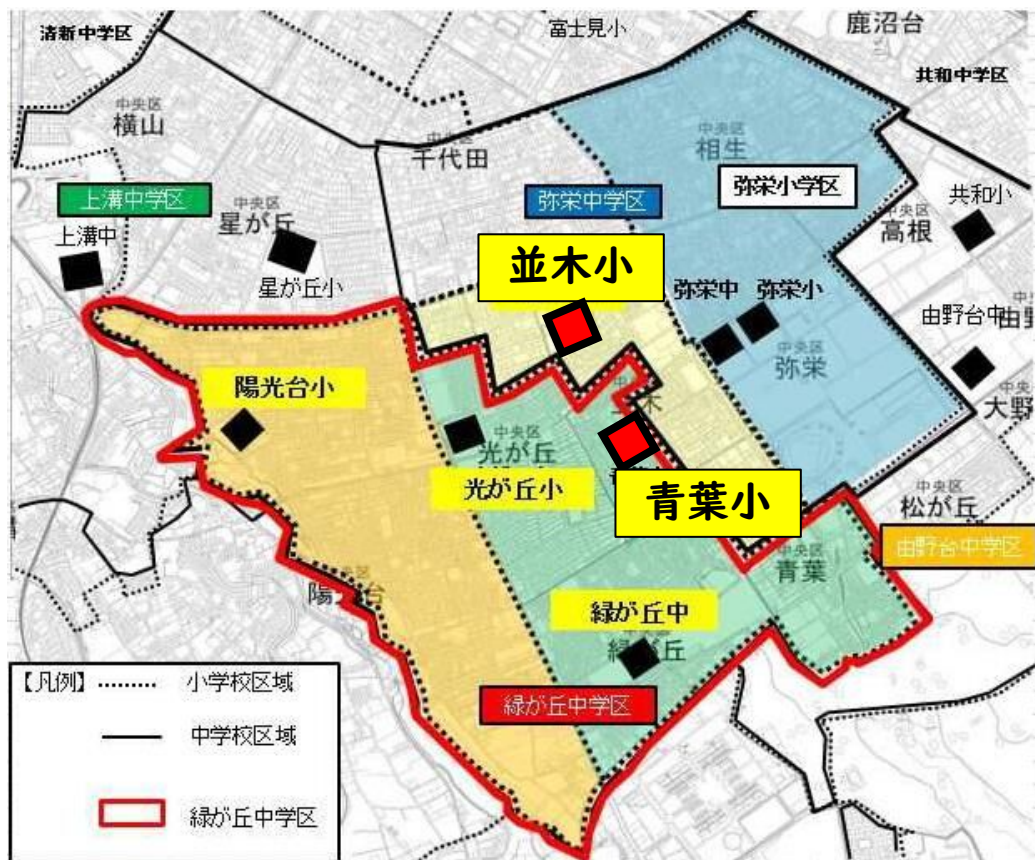


■ 神奈川県相模原市 光が丘地区学校再編

- 光が丘地区の小中学校は、令和4年度に青葉小学校、令和5年度に並木小学校でクラス替えができない1学年1学級の学年が発生し、過小規模校(※)になることが予測された。
- 過小規模校で学ぶ子供たちのために、多様な考え方に触れることができる学習環境の整備が求められたことから、光が丘周辺地域の望ましい学習環境の実現に向けた検討を行った。

(※ 過小規模校:11学級以下の小学校、5学級以下の中学校)

●対象



●検討協議会の構成

- ・光が丘地区まちづくり会議会長から推薦された者 :7名
- ・光が丘公民館長から推薦された者 :1名
- ・光が丘小学校PTA会長から推薦された者 :2名
- ・並木小学校PTA会長から推薦された者 :2名
- ・陽光台小学校PTA会長から推薦された者 :2名
- ・青葉小学校PTA会長から推薦された者 :2名
- ・緑が丘中学校PTA会長から推薦された者 :2名

■ 神奈川県相模原市 光が丘地区学校再編

● 検討経過

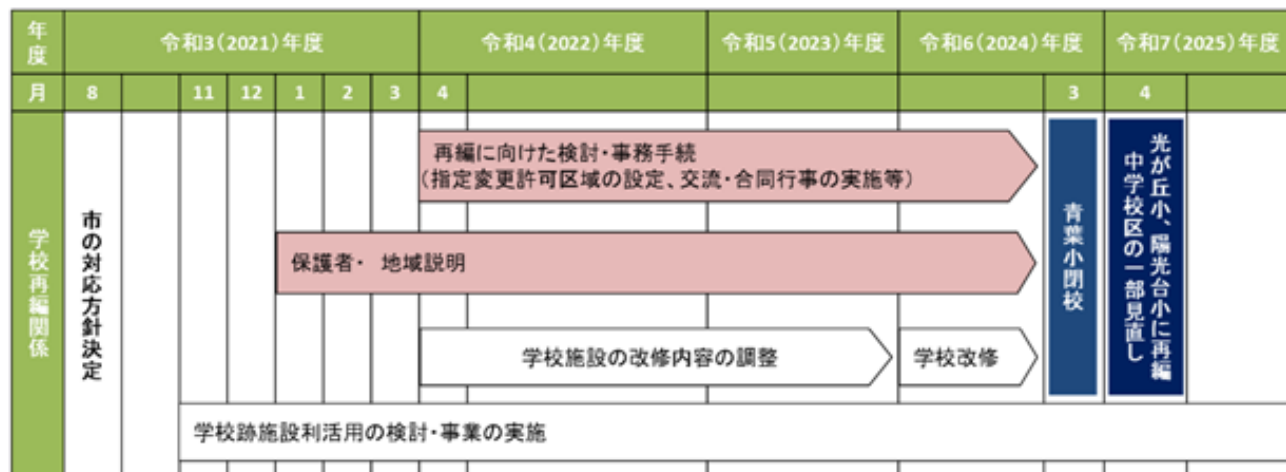
回数	開催年月日		主な内容
第1回	平成30年	8月7日	教育委員会から、児童生徒数の状況や学校規模の考え方等について説明
第2回		10月31日	グループワーク(小中学校を取り巻く現状と課題について)
第3回	平成31年	1月25日	グループワーク (現状の学校規模と望ましい学校規模の良い点、不安な点について)
第4回		3月14日	グループワーク (現状の通学区域の良い点、不安な点とそれを解消したことによる効果について)
第5回	令和元年	7月16日	グループワーク (過小規模校の発生回避の観点で設定した3つの再編案の比較検討)
第6回		10月31日	グループワーク(過小規模校の発生回避・通学区域の不一致の解消の観点で設定した4つの再編案の比較検討)
新型コロナウイルス感染症対策による会議開催の自粛			
第7回	令和2年	12月7日	検討結果報告書(骨子)の検討
第8回	令和3年	2月15日 ~22日	検討結果報告書(案)、保護者への意見聴取(案)の検討(書面協議)
		3月2日 ~4月18日	検討結果報告書(案)に関する保護者への意見聴取(書面)を実施
第9回		4月28日	意見聴取結果を踏まえた検討結果報告書の取りまとめ
以降、青葉小学校の再編については「検討部会」で、並木小学校の再編については「検討協議会」で話し合いを続けている。			

神奈川県相模原市 光が丘地区学校再編

●第1段階 青葉小学校の再編について

- 学校再編にあたって生じる通学区域の変更への対応(通学距離が長くなる地域への指定変更許可区域(※)の設定の検討)や、子供たちが環境の変化に適応するための取組(学校間での合同行事の実施等)を進めている。
- ※ 指定された学校とは別の指定した学校へ変更することができる区域

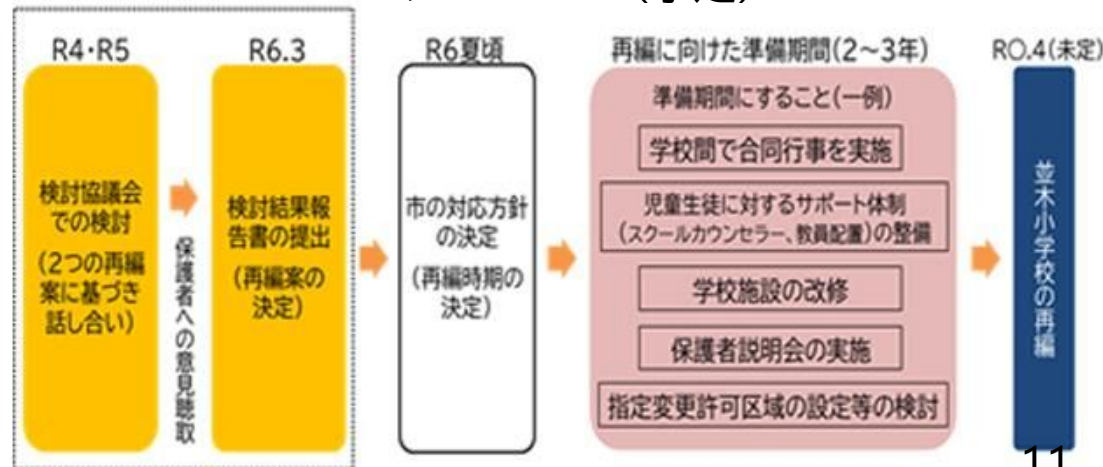
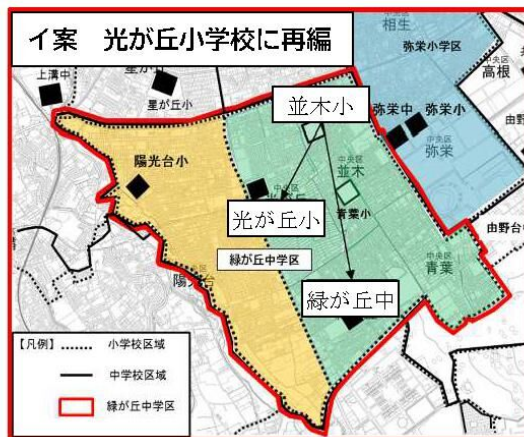
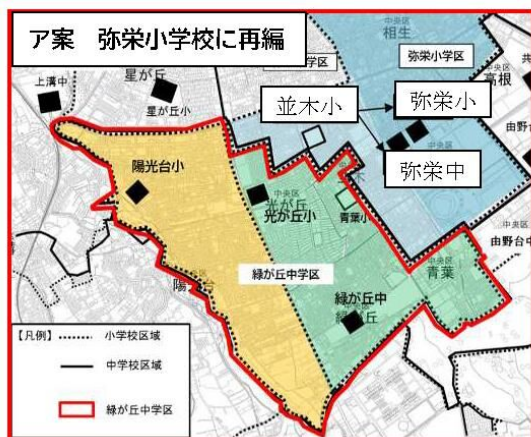
<スケジュール>



●第2段階 並木小学校の再編について

- これまでの検討結果から、並木小学校を「弥栄小学校に再編する案」と「光が丘小学校に再編する案」の2つの案があり、現在、どちらの案になるかの話し合いを進めている。
- 再編時期はまだ決まっていない。仮に、スケジュールどおり進んだ場合は令和6年夏頃に決定する予定だが、準備期間を考慮すると令和8年度以降になると思われる。

<スケジュール(予定)>



■ 神奈川県相模原市 光が丘地区学校再編

●青葉小学校跡地活用「光が丘地区の公共施設再編に向けた市民対話ワークショップ」

▶ 青葉小学校の跡地の利活用については、光が丘地区の公共施設再編に向けて、小学校再編の進捗状況を踏まえながら、閉校を想定した取り組みとして今後の基本構想や計画につなげていくために、首長部局のアセットマネジメント推進課が事務局となり、学校再編と並行して市民ワークショップを開催した。

●検討経過(令和3年度)

第1回 (11/27) 学校での思い出や、地域の魅力・課題の共有

第2回 (12/19) 跡地活用のイメージ

第3回 (1/15) 再編コンセプトや跡地活用の具体化

第4回 (3/21) 再編案のまとめ

【第2回施設見学の様子】



●検討委員会の構成

参加者の構成 (18)

光が丘地区まちづくり会議委員 (4)

小学校PTA連絡協議会 (4)

光が丘公民館運営協議会 (2)

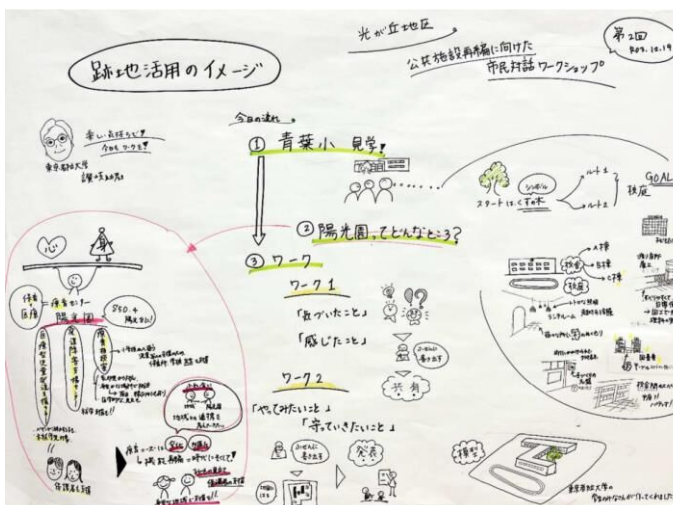
子ども会育成連絡協議会 (1)

青葉小学校避難所運営協議会 (1)

学習環境のあり方検討協議会 (1)

療育センター陽光園保護者 (1)

公募市民 (4)



【グラフィックレコーディング】

- ワークショップの内容は、毎回、イラストと文字を用いてリアルタイムで記録する「グラフィックレコーディング」で記録して、その日の成果を参加者と共有した